

高齢者フレイル予防モデル事業を実施しています

本市では、要介護状態になるリスクが高い状態を示す「フレイル」に早めに気づき、予防に取り組んでいただくことを目的に、令和5年度から「高齢者フレイル予防モデル事業」を実施しています。

1 概要

D X・行革への先行投資枠事業の一環として令和5年度より開始。センサーの前を歩くだけで歩行速度や歩行姿勢が測定できる「歩行姿勢測定システム」や、タブレットでフレイルに関する質問に回答するとフレイルの判定結果が表示される「フレイル早期発見システム」などのデジタル機器を導入し、これらを活用した測定会を実施。クラウド上に測定データを集積し、個人の状態を経年的に追っていくとともに、データ分析により、効果的な介護予防プログラムの検証を行う。

2 目的・意義

- ・介護予防事業のD X化による事業効率化
- ・デジタルでの測定による個人の結果データの見える化と即時フィードバック
- ・個人データの集積と追跡
- ・データ分析による介護予防事業の評価（最適化・集中化）と重点アプローチ層の抽出

3 具体的な取り組み内容・日程（別紙参照）

- （1）歩行測定会
- （2）シニア元気アップ教室

4 今後の展開

歩行測定会など、市民へのフレイル予防の普及啓発に繋がる取り組みを継続して実施。その他、市公式LINEのメニューにフレイルチェックを導入する方向で検討中。また、委託事業者・群馬大学と連携し、これまで集積したフレイル関連データと、医療・健診データ等を突合して分析。介護予防事業評価を行い、事業の最適化・集中化につなげる。

担 当 長寿包括ケア課 介護予防係
担当者 北原
電 話 027-898-6133（内線：3135）